

潮来市立図書館の取組み

公共図書館のこれからを考えるワークショップ

潮来市立図書館長 船見 康之

1. 潮来市の位置と地勢



- ◆潮来市は茨城県東南部に位置し、北は行方市、南は神栖市、東は鹿嶋市、西は千葉県香取市に面しています。面積は、71.41km²です。
- ◆東西が約12km、南北が13kmにあり、北部には海拔約30mから40mの行方大池が南北に続いています。東部は北浦に面し、西部は轟ヶ浦と北利根川、南部は外浪逆浦というように、水辺に囲まれた自然豊かな街です。
- ◆あやめ園、あやめ祭り、水郷十二橋巡りなどが観光名所となっています。

1. 潮来市の位置と地勢



2. 潮来市立図書館概要

◆施設規模:

- ①総事業費 1,005,481千円(工事期間 平成16年12月～平成18年3月)
- ②敷地面積 11,771m²
- ③建築面積 2,585m²
- ④延床面積 3,556m²/利用スペース
(既存棟部分2,255m²・増築部分1,301m²)
- ⑤構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建
- ⑥収容可能数 186,000冊
開架収容数 図書 96,000冊・視聴覚資料5,000タイトル
閉架収容数 図書/視聴覚資料 90,000冊
- ⑦駐車台数 68台(障害者用3台)・駐輪台数30台

※廃校になった小学校を増築して図書館を建設しました。

2. 潮来市立図書館概要

◆施設内容:

- (1階) 開架スペース、視聴覚ブース(視覚用ブース6台・聴覚用2台)
インターネットコーナー(パソコン12台)
サービスカウンター/貸出/返却/レファレンス(本の相談)
乳児童用トイレ・多目的トイレ、授乳室兼対面朗読室
自動貸出機1台・蔵書検索機3台・拡大読書機1台
エントランスホール、休憩コーナー、自動販売機コーナー
- (2階) 視聴覚室、スタディールーム、ボランティア室兼お話の部屋
集会室 2室、郷土資料展示室・郷土資料整理作業室・収蔵室

2. 潮来市立図書館概要

◆所蔵資料:

- 平成23年度実績
- ・図書資料 151,188点
- ・視聴覚資料 5,685点
- ・新聞 26誌 雑誌 356タイトル

◆運営概要:

- ・利用登録 潮来市ほか、行方市、鹿嶋市、神栖市、鉾田市、稲敷市、香取市
- ・貸出冊数 図書8点、視聴覚2点、雑誌2点
- ・貸出期間 図書・雑誌 2週間、視聴覚 1週間
- ・開館時間 午前10時～午後7時
- ・休館日 第3水曜日、特別館内整理期間、年末年始
- ・運営 指定管理(大新東ヒューマンサービス株式会社) スタッフ/17名

◆利用状況:

- 平成23年度実績
- ・貸出資料数 313,166点
- ・来館者数 193,830人

3. サービス・取組み

ここ1～3年間の間に開始した事業を中心に・・・

A. ビジネス支援事業

- ・起業経営無料相談会 ・就職無料相談会 ・雑誌スポンサー

B. 図書館活用講座

- ・図書館はじめの一步 ・修理修繕講座 ・小中学生のための調べ学習入門

C. 子ども司書講座

- ・年10回講座

D. 学校支援事業

- ・学校巡回貸出事業 ・としょかんデビュー ・その他相談

E. おもしろ理科先生派遣事業

- ・茨城県教育庁生涯学習課(各地区生涯学習センター／出前講座)

F. 鹿島アントラーズコーナー

G. 図書館海援隊サッカー部

6

A. ビジネス支援事業

◆起業経営無料相談会

内容: 起業を考えている方、経営者の方、ビジネス上で問題を抱えている方へ、会社設立、事業計画、経営戦略などの様々な課題にアドバイスをする。

連携: 茨城県中小企業診断士協会、潮来市商工会
潮来市観光商工課、図書館

◆就職無料相談会

内容: 就職希望者からの相談受付、事業主からの求人相談
求人情報閲覧(正社員、パートアルバイトなど)、職業適性診断
キャリアカウンセリング、職業紹介

連携: 鹿行地区就職支援センター、潮来市観光商工課、図書館

⇒図書館としては、レファレンスの一部として相談支援をしている。

7

A. ビジネス支援事業

◆雑誌スポンサー

内容: 雑誌購入代金を事業主に負担してもらう。

図書館では、事業者の広告配布やPRを行う。

連携: 潮来市商工会、潮来市観光商工課、図書館、事業者

⇒当館のビジネス支援事業は、地域振興を基本としている。

8

A. ビジネス支援事業



9

B. 図書館活用講座

内容: 図書館初心者の方、図書館を利用しているけど、もっと生活に活用したい方を中心に講座を通して様々なサービスを紹介するもの。

⇒利用方法、検索方法、予約・リクエスト方法、レファレンス案内
情報検索の方法(本やネット、調べ学習の方法)、データベース利用方法
修理・修繕、その他課題解決支援を目的としたもの

◆図書館はじめの一步

図書館の利用方法やサービスの紹介、本の探し方などを中心とした

◆修理修繕講座

身近なものを使って本を修理する方法を紹介

◆小中学生のための調べ学習入門

夏休みの自由研究に役立つ図書館の利用方法(調べ学習の方法や事典類の使い方など)を学習することを目的とした。

10

B. 図書館活用講座



11

B. 図書館活用講座



12

C. 子ども司書講座

内容: 本が好きで読書に興味・関心が高い子どもたちを中心に、司書についてのノウハウを習得し、友達や家族に読書の素晴らしさや大切さを伝えるリーダーを育成する。

認定された子どもたち:

- ・ 図書館子どもだより「スマイル」への書評掲載。
- ・ 図書館ボランティアとしてイベントに参加(おはなし会などのイベント)
- ・ 学校巡回資料の紹介や学校図書室における積極的な読書普及活動。
- ・ 子ども司書によるおすすめ本リストの作成と配布。
(子ども司書だよりを予定)
- ・ 図書館サービス普及の広報ポスターおよびチラシを作成した場合の広報モデルとして起用。

⇒平成24年度から開始した事業・・・第1期生:15名

13

C. 子ども司書講座

	日程	講座内容
第1回	5/27(日)	開講式、図書館サービスの説明、図書館探検オリエンテーション(自己紹介、講座の説明)
第2回	6/24(日)	本の分類、整理、配架、貸出、返却について
第3回	7/15(日)	本の利用方法(検索やレファレンスについて) 司書体験(窓口サービス)
第4回	8/5(日)	司書体験(窓口サービス)
第5回	8/19(日)	司書体験(本の選書、登録)
第6回	9/9(日)	司書体験(本の装備、修理)
第7回	9/30(日)	司書体験(ポップ作成、ディスプレイ)
第8回	10/28(日)	読み聞かせ・おはなし会について1(選書・実技)
第9回	11/25(日)	読み聞かせ・おはなし会について2(選書・実技)
第10回	12/23(日)	子ども司書によるおはなし会 閉講式、修了式(認定証授与)

14

C. 子ども司書講座



15

C. 子ども司書講座



16

C. 子ども司書講座

17

C. 子ども司書講座



18

D. 学校支援事業

◆学校巡回貸出事業

内容:本を子どもたちが身近に活用できるように様々なジャンルからセッリストを作成し、各学校へ貸出するもの。
 潮来市子ども読書推進計画を促進する目的もある。
 連携:教育委員会、市立図書館

◆とよかんデビュー

目的:読書への親しみと興味を育むことを目的とする。
 内容:市内小学校1学年生を対象に「読書ノート」を配布。

◆その他相談受付

- ・選書の相談
- ・学校図書館整備の相談

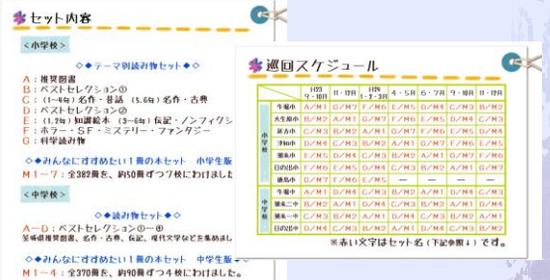
19

D. 学校支援事業



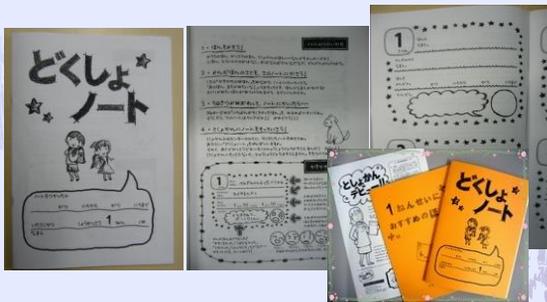
20

D. 学校支援事業



21

D. 学校支援事業



22

E. おもしろ理科先生派遣事業

◆科学実験講座

目的:様々な科学実験講座を通して、子どもたちの興味関心の向上を図る。
 講座のほか、本の紹介もある。
 連携:茨城県教育庁生涯学習課(鹿行生涯学習センター)

⇒基本は、子ども向けの事業ではあるが、親子で楽しめて学習できると好評。
 今後は、一般成人向けとしても開催できるか模索中。

23

E. おもしろ理科先生派遣事業



24

F. 鹿島アントラーズコーナー

◆コーナーについて

目的:郷土資料の一部として、特色ある資料の提供として設置

<きっかけ>

- ・郷土資料について、コレクションの見直しを行っていた。
- ・地域の観光資源に関する資料についても積極的な収集を行った。
- ・郷土コーナーに配架しなくてもいいのでは??
- ・川崎フロンターレ×川崎市立図書館の連携が話題になっていた。
⇒川崎市立中原図書館(舟田氏)とのつながり・・・。

<結果>

- ・2010年5月に鹿島アントラーズコーナーを設置
- ・ホームページに資料紹介やチーム情報(ニュース)が閲覧できるコンテンツを公開。

25

F. 鹿島アントラーズコーナー



26

F. 鹿島アントラーズコーナー



27

G. 図書館海援隊サッカー部

◆図書館海援隊・・・

平成22年1月、有志の図書館が「図書館海援隊」を結成し、ハローワーク等関係部局と連携した貧困・困窮者支援をはじめ具体的な地域の課題解決に資する取組をより本格的に開始しました。その後、この取組に対し、他の図書館からも参加希望が寄せられ、それに伴って、医療・健康、福祉、法務等に関する役立つ支援・情報の提供やJリーグと連携した取組など、分野も拡大されました。参加館数は、平成24年4月4日現在で49館となっています。

◆図書館海援隊サッカー部・・・

- ・図書館海援隊を中心とした有志5人のアクション(つながり)
⇒川崎市立図書館(舟田氏)、愛媛県立図書館(天野氏)
鳥取県立図書館(小林氏)、新潟市立図書館(祖父江氏)、潮来(船見)

- ・お互いの図書館の連携やその可能性について、日々連絡しあっていた・・・。

28

G. 図書館海援隊サッカー部

◆図書館海援隊サッカー部・・・

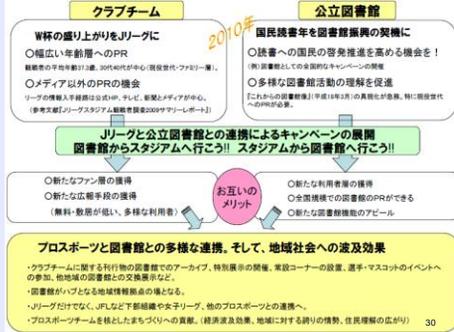
- ・2010年5月:「Jリーグと図書館の連携研究会」を発足
(※googleグループを利用/非公開)
- ・各地の連携や取組みを調べ、文部科学省、Jリーグの協力を得て、
『図書館からスタジアムへ行こう!!スタジアムから図書館へ行こう!!全国同時キャンペーン』を実施する。
- ・当初5人だったメンバーも、ビジネスライブラリアン講習会(ビジネス支援図書館推進協議会)の修了生やそのネットワークにより、参加メンバーおよび連携をはじめの図書館が増えた。
- ・全国キャンペーンには、Jリーグチーム(16)と図書館(72館)が参加し、各地で事業を展開した。

⇒2011年2月:『図書館海援隊サッカー部』に名称変更。
さらなる活動へ!!

29

G. 図書館海援隊サッカー部

プロスポーツ(クラブチーム)と図書館の連携の概念図



G. 図書館海援隊サッカー部

全国サッカーコーナーマップ



G. 図書館海援隊サッカー部

- ◆図書館海援隊サッカー部・・・現在・・・
 - ・図書館と連携をしているリーグチームは33チーム(全40チーム)
 - ・読書推進(選手おすすめの本、スタジアム内でのおはなしイベント)
 - ・facebookやtwitterでの情報発信
 - ・図書館総合展や全国ホームタウンサミットでの図書館の事例発表、クラブ関係者への広報活動。
 - ・サッカーだけにとわれない、様々なスポーツチームとの連携
⇒自転車、バスケットボール、野球・・・
 - ・連携している図書館同士による交流
⇒サッカーつながりで交換展示、観光資源を活かした交流(温泉ダービー)
 - ・図書館員、図書館との新たなつながり(ネットワークの構築)
- ⇒地域振興・地域活性化へとつながる事業へと発展している!

G. 図書館海援隊サッカー部

- ◆もっと詳しく知りたい方、はじめてみたい方とお考えの方・・・
- ・「図書館と地域のプロスポーツの連携」/愛媛県立図書館(天野奈緒也)
図書館雑誌(2013. 2/vol.107)
- ・図書館海援隊サッカー部facebook
<https://www.facebook.com/japan.football.library>
- ・図書館海援隊サッカー部twitter
@library_soccer

これまでの取組みを振り返って・・・

- ◆図書館員、図書館同士のつながりが大きな力になっている
- ◆外部との連携が不可欠なことが多い
⇒様々な機関と連携をすることで、図書館に対する理解も深まる
⇒連携することで得られる知識や経験が新たな事業への糧にもなる
- ◆個々の能力よりも組織として協働することの重要性を認識
- ◆積極的にアピールしていくことで、結果として地域を巻き込んでいく
⇒地域からの歩み寄り(ニーズ)が増える
- ◆何のための事業か? 誰のための事業か? 理念や目標を明確に!

御清聴ありがとうございました。

ご質問などありましたら、下記へご連絡ください。

潮来市立図書館
船見康之
〒311-2436 茨城県潮来市牛堀289
TEL:0299-80-3311 FAX:0299-64-5880
Mail:lib@itako.ed.jp

プロスポーツ(クラブチーム)と図書館の連携の概念図

クラブチーム

W杯の盛り上がりをJリーグに

○幅広い年齢層へのPR

観戦者の平均年齢37.3歳、30代40代が中心(現役世代・ファミリー層)。

○メディア以外のPRの機会

リーグの情報入手経路は公式HP、テレビ、新聞とメディアが中心。

(参考文献『Jリーグスタジアム観戦者調査2009サマリーレポート』)

公立図書館

国民読書年を図書館振興の契機に

○読書への国民の啓発推進を高める機会を！

(例)図書館としての全国的なキャンペーンの開催

○多様な図書館活動の理解を促進

『これからの図書館像』(平成18年3月)の具現化が急務。特に現役世代へのPRが必要。

2010年

Jリーグと公立図書館との連携によるキャンペーンの展開 図書館からスタジアムへ行こう!! スタジアムから図書館へ行こう!!

○新たなファン層の獲得

○新たな広報手段の獲得

(無料・敷居が低い、多様な利用者)

お互いの
メリット

○新たな利用者層の獲得

○全国規模での図書館のPRができる

○新たな図書館機能のアピール

プロスポーツと図書館との多様な連携。そして、地域社会への波及効果

・クラブチームに関する刊行物の図書館でのアーカイブ、特別展示の開催、常設コーナーの設置、選手・マスコットのイベントへの参加、他地域の図書館との交換展示など。

・図書館がハブとなる地域情報拠点の場となる。

・Jリーグだけでなく、JFLなど下部組織や女子リーグ、他のプロスポーツとの連携へ。

・プロスポーツチームを核としたまちづくりへの貢献。(経済波及効果、地域に対する誇りの情勢、住民理解の広がり)

全国サッカーコーナーマップ

地元クラブチームの資料やグッズなどが展示されている常設コーナーを紹介します。なお、詳細は図書館海援隊サッカー部facebookページおよび各図書館のホームページをご参照ください。



⑬長崎市立図書館 V・ファーレン展示コーナー
長崎県長崎市興善町1-1



⑨広島市立中央図書館 3大プロコーナー
広島県広島市中区基町3-1



⑦新潟市立亀田図書館 アルビレックスコーナー
新潟県新潟市江南区茅野山3-1-14



①上山市立図書館 モンテディオ山形コーナー
山形県上山市二日町10-25



⑫鳥栖市立図書館 図書館からキックオフ
～We love サガン鳥栖～
佐賀県鳥栖市布津原町11-21



⑧塩尻市立図書館 松本山雅コーナー
長野県塩尻市大門一番町12-2



②潮来市立図書館 鹿島アントラーズコーナー
茨城県潮来市牛堀289



⑪福岡市総合図書館 がんばれ!アビスパ
福岡県福岡市早良区百道浜3-7-1



③宇都宮市立東図書館 宇都宮プロスポーツアーカイブズコーナー
栃木県宇都宮市中今泉3-5-1



⑩愛媛県立図書館 愛媛プロスポーツアーカイブズ
愛媛県松山市堀之内



⑥さいたま市立大宮図書館 サッカーコーナー
埼玉県さいたま市大宮区高鼻町2-1



⑤さいたま市立東浦和図書館 サッカーコーナー
埼玉県さいたま市緑区中尾1440-8



④草津町立図書館 ザスパクサツ群馬コーナー
群馬県吾妻郡草津町草津28

